

香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

幼児期での「学びの芽生え」の確立に向けて ①

人生をこころ豊かで自立した生活を送るための基礎となる大切な幼児期。その幼児期の教育は大変重要な役割を担っています。

町教育委員会では、人格形成の基礎を培うこの時期に五感を通したさまざまな経験や遊びを体験し、幼児同士の関わりや協力によって生まれる協同性を育成し、園・所生活全体を通して「生きる力」を育むことを目標に幼児期の保育・教育の充実に取り組んでいます。

ふるさとを歩こう「お散歩絵本」～柴山保育所～

子どもたちにとって散歩は楽しい活動です。柴山保育所では潮風が心地よい柴山湾沿いの歩道を散歩コースにしています。この散歩ではいろいろな気づきや発見があります。地域の自然、生活にふれ、人と出会うことで子どもたちは五感を使った体験をしていきます。

本年度、柴山保育所の職員で製作した大型絵本「お散歩絵本」には地域の四季の自然、生活が表現してあります。この絵本を使い、散歩の様子を振り返りをするすることで、子どもたちの気づき、発見は子どもたち同士で共有され、広がり、深まっています。

絵本を背景にして、気づきや発見を伝え合ったり、空いている穴から顔を出して絵本の中に入り込んだりして、楽しみながら振り返りをすることができます。また、散歩で見つけた物を絵本の中に取り入れたり、散歩の様子を写真などを貼り付けたりして、絵本を自分たちで作りに上げていく活動もできます。

四季を通して継続的に絵本を活用しながら、地域の自然や暮らしからいろいろなことに気づき、次の散歩を楽しみに待つようになればと願っています。

この他にも柴山保育所では、地域の夏祭りや秋祭りにおみこし行進で参加したり、香住高校の茶道部やボランティア部の生徒と茶道を通じて交流したりしています。このようなさまざまな活動によって、社会性を育み、自分の生まれ育ったふるさとに愛着を持ち、ふるさとを誇りに思う子どもたちを育てていきます。



▲本年度製作した大型「お散歩絵本」



▲お散歩絵本で遊ぶ0、1歳児